

学校だより

京都市立洛西中学校
平成20年12月18日
(第20号)

1年生「ファイナンスパーク」へ行ってきました。 PTAの皆さん、ボランティアありがとうございました。

「ファイナンスパーク学習について」

1年 英語科 近江 和代

12月3日、1年生は「京都まなびの街 生き方探究館」でファイナンスパーク学習を行いました。ファイナンスパーク学習とは、施設の中に再現された架空の「街」で、生活設計の仕方を学び、自らの「生き方」を「探究」する場です。

生徒たちは、まず年齢や収入、結婚や子供の有無が記入された人物カードを受け取り、その人物になって、学習を行いました。また、施設内には実在する企業ブースが沢山あり、生徒たちは必要な情報や資料を収集し、食品、住居、光熱費等、生活費支出計画を作成しました。また、貯蓄やローン、株についても体験活動



を通して学ぶことができ、学校とは違った形で学習することができました。パーク内では生徒たちは、大人として扱われるため、自ら考え、主体的に行動することを要求されます。「自分が行動しなければ前に進まない」ということを実感できたようでした。

結果レポートを受け取った後、反省会が行われ、その中で館長さんから興味深いお話をいただきました。内容は「トイレのスリッパ」についてです。館長さんがトイレを見に行かれた時、スリッパが綺麗に並んでいたそうです。「生徒が学校生活や学習に対して真面目に取り組んでいるかどうかはトイレのスリッパを見れば分かる。数分前にはスリッパは散らばっていたかもしれない。でもそれに気づいて綺麗に整頓した生徒がいる。生徒もスリッパと同じ。時にはばらばらになっていることもある。しかし気づいた誰もが綺麗に並べなおすことができる。」

このファイナンス学習を通して、生活設計についてはもちろん、生活の中で大切にしなければいけない基本的なことに気付かせてもらったような気がします。

そして、生徒たちの感想にも多く書かれていたように、自分たちを支えてくれている親や周りの人たちへの感謝の気持ちを常に持たなければならないということも実感できたようです。子どもたちは今、大人になるための勉強をしています。教科だけの勉強ではなく、将来生きていく上でお金のことや社会常識など、知っておかなければいけないことはもちろん、人への感謝の気持ちを学ぶ必要があります。しかし、感謝の気持ちというのは、「学ぶ」ものではなく、「感じる」ものです。今回のファイナンスパーク学習で子供たちはそれを「感じる」ことができたように思います。

